

中世遠隔地交易史と主要諸都市の海上保険の変遷

年次	主要事項	備考	
紀元前1世紀	ジェノヴァ・フィレンチェ ローマ植民市として成立 交易都市として発展	イタリア交易諸都市の発展 ヴェネチア商人- ・東方交易中心 ・武装化したガレー船を活用 ジェノヴァ・フィレンチェ商人- ・フランス・スペイン・ポルトガルなど西欧に進出 ・海運ではナウという商船が中心で、リスク対策で「冒険貸借(または海上貸借)」を頻繁に利用した 海上保険までの変遷 冒険貸借⇒無利息貸借⇒仮装売買⇒真正海上保険	
6世紀	ヴェネチア アドリア海の制海権を掌握		
10-11世紀	ヴェネチア 皇帝の特権を得て東方交易を活発化		
1015-16年	ジェノヴァ・ピサ イスラム勢力を一掃し西地中海交易を活発化		
11世紀	フィレンチェ 毛織物工業が出現		
1104年	ヴェネチア 船団交易の開始 国立造船者の建設		
12世紀	フィレンチェ 毛織物工業・金融業が活発化		
1149年	ジェノヴァ 第2回十字軍に参加 東方交易の利権獲得		
1203-04年	ヴェネチア 第4回十字軍に参加 コンスタンチノーブルの占領 東方交易独占を確保		
1227-35年	ローマ教皇グレゴリウス9世「徴利禁止による教皇令」発布		
13世紀後半	ジェノヴァ・ヴェネチア間 数次の戦争 黒海交易に進出		
	リスボン 地中海と大西洋を結ぶ海上輸送の交易拠点に		ポルトガルの登場
1310年	ブリュージュ 保険会議所が設立 西北ヨーロッパで最も栄えた商業都市		保険組織の設置では最古(?)
1314年	ジェノヴァ・ヴェネチア フランドル・イングランド間の定期航路開設		
1343年	ジェノヴァ 「無利息貸借仮装契約」の初見	「徴利禁止令」の対応手段出現	
14世紀中期	イタリア諸都市 大型帆船船団時代へ移行化 ヴェネチア は国有ガレー船団方式へ移行		
1369年	ジェノヴァ 世界最古の保険条例の制定		
1370年	ジェノヴァ 「仮装売買契約」の初見	「徴利禁止令」の対応手段出現	
1370年代後半	リスボン・ポルト 海上保険の相互組合組織を設置	ポルトガル最古の保険組織の設置	
1379年	ピサ 「真正海上保険証券」の初見(世界最古の海上保険証券!)	今日の海上保険の原型が登場	
	マルセイユ 「仮装売買契約」の初見	フランスの海上保険の始まり	
1385年	フィレンチェ 「真正海上保険証券」の初見	近代海上保険の定着(規定・約款などその後近代ロイズに基盤が受け継がれる)	
1395年	ヴェネチア 「真正海上保険証券」の初見		
1402年	バルセロナ 「真正海上保険証券」の初見		
1427年	マルセイユ 「真正海上保険証券」の初見		

1432年	バルセロナ スペイン最古の保険条例の制定	体型だった保険条例でその後の範となった
1498年	ポルトガル ヴァスコ・ダ・ガマ インド・パンダラニ(現カルカッタ付近)に到着	ポルトガルの大航海時代の始まり
1509年	ブルゴス 「真正海上保険証券」の初見	有力海上保険市場の一つとなる
1529年	リスボン 「インド商務院」に海上貸付や海上保険の専門書記官を設置	インド航路の全盛期
1531年	アントワープ 「真正海上保険証券」の初見 保険取引所の設置	ネーデルランドの保険市場
1538年	ブルゴス 保険条例の制定	
1543年	ポルトガル船 種子島に漂着	日本に「南蛮時代」到来
1547年	ロンドン 「真正海上保険証券」(イタリア文)の初見	英国の保険市場
1543年	イエズス会フランシスコ・ザビエル 鹿児島上陸	
1553年	ロンドン 「真正海上保険証券」(英文)の初見	
1565年	ブルゴス 海上保険契約の事例 lost or not lost(遡及契約)の契約	インド航路1563年商船隊の復路 事例1
1582年	イエズス会天正少年使節 長崎を出発ポルトガルを經由しローマに向かう	天正10年 九州諸藩から4名派遣
1584年	ブルゴス 海上保険契約の事例 復路で天正少年使節一行が乗船	インド航路1563年商船隊の復路 事例8
1588年	ハンブルグ 「真正海上保険証券」の初見	ドイツの保険市場
1604-1635年	日本の有力商人 朱印船を東南アジアに派遣(累計300船強)	
1622年	長崎有力商人によるポルトガル国王宛て「抛銀」返済の陳情書	ポルトガル資金調達苦戦 「抛銀」の活用
1635年	日本人の海外渡航禁止 事実上の「鎖国」(除く中国・オランダ)の実施	
1638年	リスボン ポルトガル王女の勅令「インド航路の復路便に海上保険付保を命じた」	オランダ・イギリスの海賊対策「抛銀」と関連
1688年頃	ロンドン Lloyd's Coffee House の出現	近代保険ともいうべき海上保険取引が活発化
1867年	福沢諭吉 「西洋旅案内」で日本に初めて保険を紹介	
1879年	日本最初の保険会社(東京海上保険)の創業	
1912年	タイタニック号の沈没	

出典) 堺雄一「中世ヨーロッパの遠隔地交易と危険対策(1)」(2002年)『生命保険論集』139号 P78 木村栄一(1979)『ロイズ保険証券生成史』海文堂 など多数の文献を参考にし筆者が加筆し作成した